

(様式第3号)

令和8年10月21日

「第3次米原市総合計画基本構想（案）および基本計画（案）」についての米原市パブリックコメントに対して
提出された意見等とその意見等に対する市の考え方および検討結果について

案 件 名： 第3次米原市総合計画基本構想（案）および基本計画（案）
意見募集期間： 令和8年9月1日（火）～令和8年9月30日（水）
所 管 課： 政策推進部政策推進課

提出された意見などの内容	提出された意見の数（人数）	意見などを受けて市が検討した結果	意見などに対する市の考え方
【1】総合計画全体 ・総合計画がきめ細かに作成されていて良い。	1件 (1人)	案のとおりとします。	市民のみなさんに共感していただける計画として、取りまとめを進めていきます。
【2】総合計画全体 ・第3次米原市総合計画をできる限り市民の誰もが理解して、自分の街のこととして行動できるようにしてほしい。内容は素晴らしい、実現できるように。	1件 (1人)	案のとおりとします。	計画策定後においても、情報発信や協働の取組を進めるとともに、計画の実現に向けて、具体的な取組を推進していきます。
【3】総合計画全体 ・計画は素晴らしく細やかでご苦労を感じます。市民が参加するにはまだまだ現実的ではない言葉だけのように感じます。市民一人一人ができる、やりたいと思える手立ての支援の必要性を感じます。市の細やかな手助けがあってこそ、市民の力の底力の大きさを感じられるのではないのでしょうか。	1件 (1人)	案のとおりとします。	基本構想に記載しているとおり、一人一人が自分ごととしてやりたいこと・関わりたいことに取り組めることが幸せにつながると考えています。市民のみなさんがやりたいことに挑戦できる環境づくりを進めていきます。

【４】総合計画全体 ・多角的に問題点をあぶりだして未来志向で計画されていることがよい。人口減少の時代、古い人の考えよりも若い人が活躍できる土壌をさらに作ってほしい。	１件 (１人)	案のとおりとします。	地域の幸福度を高めていくため、社会の変化を恐れずに、誰もが活躍できるまちづくりを目指していきます。
【５】総合計画全体 ・「自分らしく」「主体的」「多様な表現活動」など、未来に向けて、構想を練っていただいていると感じます。正直なところ人口減少や社会変化の速さは、迫ってくる感があります。変化を恐れずに、新しいことにどんどんチャレンジできるための計画であってほしいです。	１件 (１人)	案のとおりとします。	基本構想の基本理念に記載しているとおり、米原市が持つさまざまな魅力や資源、可能性を生かし、新たな視点や技術を取り入れ、変化を恐れずに市民が望む暮らしをともに創っていく『挑戦する』まちを目指していきます。
【６】総合計画全体 ・計画の優先度（どれが一番大事なのか）や、具体的な数値（人口は何人くらいまで維持したいのか、どのような企業を誘致し、どのような移住者を求めているのか。）が必要。	１件 (１人)	案のとおりとします。	市民意識調査で最も回答が多かった「子育てしやすいまち」への声を重視し、こども・若者を基本計画における基本目標の１番目に位置づけました。また、目標として「こどもがいきいきと暮らせる」と感じる市民の割合 40%などの数値も設定しています。
【７】総合計画全体 ・縮充の考え方は理解できますが、計画案からは具体的な進め方が少しわかりにくく、どの様に持続可能な形で取り組んでいくのか見えにくいと感じました。身の丈に合った見直しを行い、縮小を進めることになるとは思いますが、上下水道のようなインフラは簡単に縮小できるものではなく、縮充を継続して進められるかどうかは未知数です。結	１件 (１人)	案のとおりとします。	第３次米原市総合計画は、将来像や重点目標などの「ビジョン」となる基本構想、重点政策や分野別方向性の「ミッション」となる基本計画で構成されています。取組については、実施計画や分野別計画の中で、具体化されていきます。分野別計画においても、「縮充」の考え方のもと、米原市らしさを大切にしつつ、強みを生かした施策を検討していきます。また、施策

果として十分な結果が得られない可能性もあるのではないかと心配しています。そのため、縮充と同時に、長浜市や彦根市との広域連携、企業誘致の強化、交通の利便性を生かした移住促進など、米原の強みを生かした施策を併せて進めることが重要だと考えます。 ・米原市らしさを加えた「縮充＋プラス」という考え方を提案します。また、「縮小」より先に、地域の皆さんと一緒に「充実」を考え、実現を目指すことで、結果として「縮小」も円滑に進むのではないかと思います。「なくなる前に、こう良くなる」を市民と共に考えるプロセスを大切にしていきたいと思います。			の推進においても、市民のみなさんとともに考えるプロセスを大切にしていきます。
【8】総合計画全体 ・急激な人口減少や少子高齢化という「縮小」を受け入れつつ質を「充実」させる「縮充」の発想は、日本の国柄や子孫存続への諦めに映ります。米原のような地方都市こそ、積極財政・減税・子育て支援・教育投資を通じて出生率を高め、若者が残れる「勝つ産業」と雇用を創出すべきです。人口目標を「縮充」で済ませることは、国全体の人口危機を地方がさらに加速させる責任放棄に映ります。幸福度 7.0 を目標とすること自体は結構ですが、その土台は「日本人として誇りを持ち、家族を築き、こどもを育てやすい環境」でなければなりません。「縮充」ではなく「再生・拡大」を掲げ、	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	本計画の「縮充」は、人口減少に歯止めをかける取組とあわせて進めるものです。子育て支援や教育の充実、企業誘致や雇用の創出など、若い世代が住み続け、家庭を築ける環境づくりに力を注ぐとともに、暮らしの質も高めることで、選ばれ、住み続けられるまちを目指していきます。

人口目標を明示的に高めに設定し、子育て・教育・雇用で若者定着を本気で狙うべきです。			
【9】総合計画全体 ・中学生ぐらいにもわかりやすい内容にしてほしい。	1件 (1人)	案のとおりとします。	中学生にも分かりやすい計画として取りまとめを進めるとともに、こども向けの概要版などの作成も進めていきます。
【10】基本構想（将来像） ・「あなたが笑う、わたしも笑う」このことをできるだけ沢山の方と共有して広めていくことが大切だと思います。	1件 (1人)	案のとおりとします。	市民一人一人が挑戦できる環境づくり、だれかの活躍や挑戦を応援できる社会づくりに取り組み、自然と笑みがこぼれ、全ての人が幸せを感じ、力を合わせることで希望が生まれる、幸せが生まれるまちを目指します。
【11】基本構想（将来像） ・大切だと思う人をどんどん増やして生きていくことが大事。(気づく、あきらめない、伝える)	1件 (1人)	案のとおりとします。	計画策定後においても、情報発信や協働の取組などにより、市民のみなさんとの共感を広げていきます。
【12】基本構想（将来像） ・今よりもう少し幸福度が上がる活動なら何でもやります。	2件 (2人)	案のとおりとします。	一人一人の心身の健康や充足度を大切にしつつ、市民のみなさんとの協働の取組を進めていきます。
【13】基本構想（将来像） ・「あなたが笑い、わたしも笑う…」笑えない時もあると思います。そんなときも受け入れられて、住み続けられるまちであってほしいと思います。「居心地よく、安心して暮らせるまち」くらいの平熱がよいです。	1件 (1人)	案のとおりとします。	将来像に込めたのは、いつも笑顔でいることではなく、支え合いのなかで、つらい時も受けとめられ、安心して住み続けられるまちへの願いです。「居心地よく、安心して暮らせるまち」は、計画の土台で大切にしたい思いそのものです。今後のまちづくりに生かしていきます。
【14】基本構想（将来像） ・社会の幸せは、そこに住まう多くの人、みんなが幸せになる必要がある。「幸せ」な人がもっと幸せになるよりも不幸な人が幸せに近づいたほうが数	1件 (1人)	案のとおりとします。	世代を超えたひとのつながり、地域を超えたつながり（連携）、自然環境や風土、歴史・伝統を将来にわたって継承する時を超えたつながりなど、孤立や断絶を防ぎ、つながりで輝く

値を上げるのに効率的だと思う。しかし政治は限られた予算の中でその時の最適解を選ぶもの。何を削るか考えるもの。			まちを目指します。
【15】基本計画（総論） ・ウェルビーイングを目標としたところはいと思います。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	これまで総人口をまちづくりの目標として掲げてきましたが、人口だけではない目標指標を設定することが重要であるため、「幸せの指標『幸福度』7.0」を目標値としています。
【16】基本計画（総論） ・この11年で「幸福」という考えが市民にどう広がり理解されるかが大事だと思います。個人主義による幸せだけではなく、少し大変でも人とつながり面倒なことがあっても幸せを感じる。そういった社会としての幸せも、自分の幸せに含まれるようになってほしいです。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	一人一人の幸せが市民みんなの幸せにつながることを、市民のみなさんに情報発信していきます。世代を超えたひとのつながり、地域を超えたつながり（連携）、自然環境や風土、歴史・伝統を将来にわたって継承する時を超えたつながりなど、孤立や断絶を防ぎ、つながりで輝くまちを目指します。
【17】基本計画（総論） ・基本目標の14項目を数値で見ているため、全体目標が「幸福度」というふわっとしたものでもいいと思いました。むしろ個々に幸せを感じる瞬間が違うため、7.0になった時には、米原がさらに良い市になるのだと思います。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	一人一人に活躍の場や挑戦できる環境があり、全ての人々がやりがいを持って、力を合わせることで笑顔がつながり、幸せが生まれるまちを目指します。
【18】基本計画（総論） ・米原市は、多様な魅力ある地域が集まって成り立っていますが、地域ごとに環境や抱える課題は大きく異なります。そのため、地域別に幸福度を見た場合、地域差が生じている可能性があるのではないのでしょうか。もし、地域差が存在するのであ	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	年齢や性別、居住地に関係なく、一人一人に活躍の場があり、挑戦し、自然と笑みがこぼれるまち、笑顔がつながり、幸せが生まれるまちづくりを目指します。

れば、市民全体の平均値として「7. 0」を掲げるのではなく、どの地域に住む市民も幸福度7. 0を実感できる状態を目指すべきと考えます。目標の表現として、「どこに住んでいても幸福度7. 0を実感できるまち」とすることを提案いたします。			
【19】基本計画（総論） ・基本計画では仕方ないのかもしれませんが、総花的に書かれていますので米原市が将来どのような姿になっているのか、私にはほとんど見えてきません。基本計画で目指そうとしていることは、分野別の計画で具体的な計画が示されると考えてよいのでしょうか。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	「基本目標1 こども・若者」では、『こどもや若者が自分らしく挑戦できる環境があり、地域に元気と希望が広がっている』というように、14の基本目標ごとに「幸せが生まれる2037年の米原の姿」を整理しています。重点政策や分野別方向性の「ミッション」である基本計画に基づき、実施計画や分野別計画で取組を具体化していきます。
【20】基本計画（総論） ・基本計画には多くの数値が示されていますが、どれも出典がわからないのでそれぞれ示してもらった方がよいと思います。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	基本計画に記載している目標値については、参考資料において出典をお示しする予定です。
【21】基本計画（総論） ・SDGsを計画の軸に据えるのは、国連主導のグローバルズムに地方が無批判に乗る姿に見えます。過度な国際規範依存を排し、日本の国柄に即した国づくりを進めるべきです。幸福度指標や「笑い」「自分らしく」といった情緒的目標は美しく聞こえますが、危機の時代に必要なのは「日本人として生きる誇り」「伝統文化の継承」「食と健康の自	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	本計画の軸は、自治基本条例の理念に基づく将来像です。SDGsについては、「持続可能性」や「誰一人取り残さない」という考え方が、本市が目指すまちづくりの方向性と重なることから、各取組との関連性を示す共通の視点として参考になっているものです。あわせて、歴史文化の継承や農林水産業の振興、防災・防犯など暮らしの基盤づくりも各分野に位置づけて

立（化学物質依存を減らす）」「国防・治安・土地防衛の意識」といったハードな基盤です。協働・対話重視自体は良いですが、それが「誰もが納得できる現実的政策」につながらなければ、形式的な市民参加に終わります。			おり、市民のみなさんとの対話を実効性のある施策につなげていきます。
【22】基本計画（基本目標１：こども・若者） ・若い人たちが子育てしやすい保育、学校、医療が重要。	１件 （１人）	案のとおりとします。	全ての子育て世帯が安心して子育てができる環境づくり、子育ての喜びが感じられる支援の充実を図ります。
【23】基本計画（基本目標１：こども・若者） ・P40の「こども・子育て」の目標数値ですが、「子育て支援・補助が手厚い」と考える市民の割合を22.6%から30%に引き上げるといことは、今よりも補助を手厚くすると解釈されませんか。	１件 （１人）	案のとおりとします。	「01 こども・子育て（P.41）」の「幸せが生まれるみんなの取組」を総合的に取り組むことで目標数値の実現を目指します。
【24】基本計画（基本目標２：教育） ・「自分が幸せかどうか」考える機会を持てるとよいのではないかと思います。そのためには、自分を知ることとても大切と感じているので、人権教育につながる「包括的性教育」を身近なところから広げていければと思っています。また、学校システムがアップデートできるよう、お手伝いをしたいと思います。	１件 （１人）	44 ページ、「01 就学前・学校教育」の「幸せが生まれるみんなの取組」について、「一人一人の心を育て、学びや自分の個性・才能を自らの人生や社会のために生かすことができるこどもを育成するため、自己肯定感と自己有用感を高める保育・教育を推進します。」を「一人一人の心を育て、学びや自分	就学前・学校教育において、こどもたちが学びや自分の個性・才能を自らの人生や社会のために生かすことができるよう、自己肯定感と自己有用感に加え、健康で幸福な人生を築く力を高める保育・教育を推進できるように修正します。

		の個性・才能を自らの人生や社会のために生かすことができるこどもを育成するため、自己肯定感と自己有用感、健康で幸福な人生を築く力を高める保育・教育を推進します。」に修正します。	
【25】基本計画（基本目標２：教育） ・P44の02 学校・家庭・地域連携の項で「・・・学校、家庭、地域が連携して、・・・」とあり、まったくそのとおりと思いますが、現実にはPTAがすでに解散した学校もあり、今後も増えそうと聞いています。このような現状がある中で、学校と家庭、地域との連携をどうやって進めるのでしょうか。	1件 (1人)	案のとおりとします。	担い手が不足するなか、連携をどう進めるかは重要な課題と認識しています。本計画は、地域全体でこどもたちを支えることを基本としています。地域の方々が無理なく関われる多様な参加の形を広げ、学校・家庭・地域が支え合う関係を築いていきます。
【26】基本計画（基本目標２：教育、 基本目標３：人権） ・「人権／多様性・多文化」を基本目標に掲げ、「違いを尊重し合う気持ちが広がり、みんなが自分らしく輝いている」とするのは、過度な多文化主義やLGBT理解増進、選択的夫婦別姓推進の延長線上に見えます。抽象的な「自分らしく」や多文化強調は、地域アイデンティティを希薄化させ、コミュニティの結束を弱める恐れがあります。外国人	1件 (1人)	案のとおりとします。	本計画では、全ての人が互いに人権を尊重し、性別や年齢、国籍などにとらわれることなく、その個性と能力を十分発揮できる社会づくりを進めていくこととしています。多文化共生についても、国際理解や交流を通じて、互いの文化への理解を深めることとしています。 また、基本目標２に記載しているとおり、歴史文化や文化財が未来へと受け継がれ、郷土への深い愛着と誇りが息づいている社会の実現

労働者・住民増加への言及が薄い（または肯定的すぎる）点も懸念されます。 2025 年参議院選挙で参政党や日本保守党が躍進した背景には、まさにこうした外国人政策への有権者の強い不満と、移民の無秩序な拡大を否定する明確な意思がありました。ネット世論でも「外国人政策・移民・労働力」が最も話題となり、多くの国民が「日本人ファースト」を求めた結果です。地方計画がこの国民の声を無視し、多文化共生を安易に推進すれば、地域の不安をさらに増幅させます。 米原の伝統的な祭り・風習・郷土愛・歴史（神話を含む）を次世代に伝える「誇りある教育」や「正しい歴史認識」が具体的に前面に出ていません。 「学力より学習力」「自虐史観を捨て日本に誇りが持てる教育」「郷土を愛する精神」を重視し、教育に「米原・滋賀・日本の歴史・伝統・神話・誇り」を明確に位置づけ、多文化・多様性強調とのバランスを取るべきです。外国人・多文化施策は「日本人ファースト」を前提に、共生のルールと負担の透明化を徹底し、選挙で示された有権者の無秩序な移民否定の意思を反映してください。			を目指していきます。
【27】基本計画（基本目標3：人権） ・移住者、外国籍の人、一人一人の人権が尊重されるようになってほしい。	1 件 (1 人)	47 ページの「02 多様性・多文化」の「幸せが生まれるみんなの取組」について、「全ての人が	全ての人が互いに人権を尊重し、性別や年齢、国籍などにとらわれることなく、その個性と能力を十分発揮できる社会づくりを推進していけるように修正します。

		互いに人権を尊重し、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分発揮できる社会づくりを進めます。」を「全ての人が互いに人権を尊重し、性別や年齢、国籍などにとらわれることなく、その個性と能力を十分発揮できる社会づくりを進めます。」に修正します。	
【28】基本計画（基本目標３：人権） ・基本計画の考え方において、男女共同参画の視点をより重視していただきたい。市民調査では、固定的役割分担意識を持つ市民が多く、家庭内の負担の偏りもみられます。また、家庭、地域社会、職場、政治などの場面で「平等である」と感じている市民は多くありません。これらの状況が改善されなければ、幸福度の向上は難しいと考えます。 ・さらに、避難所運営でジェンダー配慮は必須、地域の支えあいを持続可能にさせるためにも女性の力が不可欠、人口減少対策として「女性が働き続けられる環境」の整備が重要（同一労働同一賃金、女性が働きやすい職場環境づくり）など、これらの観点からも、男女共同参画の推進は総合計画の	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	本計画では、これまでの男女共同参画の取組を土台に、性別に加え、年齢や国籍など多様な違いを尊重する視点へと広げています。防災や地域の支え合い、働く環境づくりなど各分野で、全ての人が互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮できる社会づくりを進めていきます。

基盤として位置づけることが大切だと思います。			
【29】基本計画（基本目標４：福祉） ・介護事業に関して、「地域の居場所をヘルパーステーションにする構想」を進めてはどうか。「ご近所元気に暮らし隊員」非専門職として、その地域で活動いただく方向の検討を。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援などのサービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進します。頂いた御意見は、今後の施策展開の参考とします。
【30】基本計画（基本目標４：福祉） ・孤立、孤独対策が福祉につながる。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	地域における福祉ボランティアや支え合いの福祉活動のすそ野を広げ、福祉人財の育成や活動しやすい環境づくりを支援し、誰もが地域の一員として暮らせる福祉のまちづくり活動を推進していきます。
【31】基本計画（基本目標４：福祉） ・P50 の 02 困りごと・ひきこもりの支援の項で、「…困りごとを抱えながら声を上げられずにいる人に働きかけます。」とありますが、何を働きかけるのですか。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	福祉・就労・教育・保健などの専門機関が連携して、生活上の困りごとなどを把握し、複雑・多様化した課題に組織横断的に対応していきます。
【32】基本計画（基本目標５：健康・医療） ・医療の充実を進めてほしい。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	限られた医療資源を有効活用し、市内外の医療機関や医療・介護・福祉分野と連携して、疾病・重症化予防から在宅療養までを切れ目なく支える一次医療提供体制の構築を目指します。 また、高齢化を踏まえ、治療にとどまらず、市民が住み慣れた地域で暮らし続けられる医療の実現を目指します。
【33】基本計画（基本目標６：防災・安全） ・P55 の 03 交通安全の項で、「…活動に参加・	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	交通安全協会などを想定しています。

協力するとともに、団体の活動を支援します。」とありますが、どの団体をさしているのですか。			
【34】基本計画（基本目標7：自然・環境） ・自然を大切にしてほしい。	1件 (1人)	案のとおりとします。	限りある資源の有効活用・循環、環境負荷の少ない経済活動や生活スタイルの確立、良好な環境の保全などにより、生物の多様性の確保および自然環境の保護を促進します。
【35】基本計画（基本目標7：自然・環境） ・米原の自然や歴史の素晴らしさを市民やほかの地域の皆さんに伝えていきたい。	1件 (1人)	案のとおりとします。	市民、事業者、行政が連携して、自然や歴史の素晴らしさや環境保全の重要性などを共感いただける取組を進めます。
【36】基本計画（基本目標7：自然・環境） ・放置資産について、ペナルティ、インセンティブプロジェクトを条例化、公有化、再コモンズ論を。	1件 (1人)	案のとおりとします。	放置された空き家や土地は、景観や防災、地域の活力に関わる重要な課題と認識しています。本計画では、空き家などの発生予防や適切な管理、活用を含めた総合的な対策を進めることとしており、地域の共有の資源として生かす視点も含め、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
【37】基本計画（基本目標7：自然・環境） ・「エネルギーシフト」で再生可能エネルギーや脱炭素未来投資を優先するよりも、「メガソーラー・風力による環境破壊の阻止」「再エネよりCO2排出を縮小できる次世代火力の推進」「脱炭素政策の見直し」を優先すべきです。太陽熱温水器のように既存技術で省エネに資する補助金は有意義です。太陽光発電も、大規模災害時や外部電力・自家発電機故障時の最低限の電力供給用途であれば意義があります。しかし、太陽光パネルやメガソーラー	1件 (1人)	案のとおりとします。	本計画では、環境に配慮した太陽光発電や小水力発電など、地域資源を生かした再生可能エネルギーの導入や地産地消、省エネルギーの促進を掲げています。また、基本目標7では生物多様性の確保や自然環境の保全を掲げており、景観や自然環境との調和を図りながら、地域に根ざしたエネルギーの活用に取り組んでいきます。

に補助がなかった時代、民間市場に晒されていた大手電力会社が積極的に設置してこなかった事実を踏まえれば、通常の市場経済では耐え難い設備と言えます。再エネ賦課金も太陽光パネルを利用しない人々からも取った上で設置者に利益が回るので、不公平感が根強く問題が大きいです。そもそも、国のカーボンニュートラルにどこまで付き合う必要があるのでしょうか。 米原の山・水の豊かさを守ると言いながら、大規模再エネ導入が景観・生物多様性・農地を損なうリスクをどう制御するかが不明確です。釧路湿原のメガソーラー問題は記憶に新しく、米原の自然があのような状態になってはなりません。高島市・若狭町境界の三十三間山周辺では風力発電所計画が進行中であり、山頂付近の樹齢数百年のブナ林が作業用林道建設などで既に伐採された記事が出ています。地方のエネルギー自立は重要ですが、グローバルな脱炭素イデオロギーに過度に従うのではなく、日本らしい循環型・地産地消・現実的なエネルギー安全保障を優先すべきです。エネルギーは再エネ一辺倒ではなく、地域の現実的な自立と環境保全を両立する選択肢を提示してください。			
【38】基本計画（基本目標9：産業） ・人も金も減るスマートシュリンクは、行政だけでは耐えられなくなる。これからは企業、団体など	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	本計画では、民間事業者や大学、地域団体、行政などが立場の違いを越えて対等に出会い、強みや課題、資源を共有できる場と関係性を育

広い分野との連携、協働が避けられない。そこで、先取の意気でE S Gのコンソーシアム協定が必要である。これを目指して一步の踏み出しを。			むこととしており、包括連携協定の拡大も目標に掲げています。多様な主体との連携の形については、今後の取組の参考とさせていただきます。
【39】基本計画（基本目標9：産業） ・自然や交通の利便性は大きな強みだが、経済、産業の発展力が見込めないと価値が向上しないと思います。若者が働ける企業を誘致していかないと人口減少は止められない。	1件 (1人)	案のとおりとします。	市民意識調査でも、人口減少対策として企業誘致や新産業の創出を求める声が最も多く、本計画では企業の立地支援や魅力ある雇用環境づくりを進め、若い世代が働き、住み続けられるまちを目指します。
【40】基本計画（基本目標9：産業） ・P60 下段の農林水産業ですが、農業はわかりますが、米原市内で畜産業・水産業・林業の振興を図っているという話を聞いたことがありません。市としてどうしても振興を図る必要があるならわかりますが、総合計画に位置づけるほどではないと考えますが、いかがでしょうか。	1件 (1人)	案のとおりとします。	本市は豊かな森林や琵琶湖に恵まれ、農林水産業は食を支えるだけでなく、国土の保全や水源のかん養、景観の形成など、暮らしの基盤となる多面的な役割を担っていることから、総合計画に位置づけています。地域の資源を生かした農林水産業の振興を図り、その価値を広く発信していきます。
【41】基本計画（基本目標9：産業） ・P61 の03 農林水産業の項で、「漁場環境の保全、漁業関連施設の維持管理、担い手確保や後継者育成などにより、水産業を振興します。」とありますが、水産業を市の産業として位置づけて振興されているのですか。	1件 (1人)	案のとおりとします。	本市は琵琶湖に面し、市内を流れる河川とあわせて、豊かな水辺の恵みを生かした漁業が営まれています。水産業は、地域の食文化や水辺の環境保全にも深く関わる大切な産業として位置づけており、漁業者や関係機関と連携しながら、豊かな水の恵みを次世代へつないでいく取組を進めていきます。
【42】基本計画（基本目標9：産業） ・P62 の中段にある目標数値ですが、米原市内で年間こんなに多額の観光消費があると思いませんで	1件 (1人)	案のとおりとします。	数値に間違いはありません。入込客数については紙面の構成上、総合計画においては記載しておりませんが、統計調査としては公開されて

したが数値に間違いはありませんか。日帰り、宿泊ともに入込み客数も示していただくと、さらに分かりやすくなると思います。			います。
【43】基本計画（基本目標9：産業、基本目標10：経済） ・経済・産業の「にぎわい」が抽象的で、積極財政・国民負担軽減の視点が欠如しています。風土を生かしたなりわい創出は良いですが、具体的に「勝つ産業」（製造業・AI・サブカルチャーなど）への戦略的支援や、減税・社会保険料削減による手取り増、国民負担率抑制の視点が弱いです。地方交付税依存や「協働」で済ませず、地域経営として財政の見える化・公会計改革を徹底し、中央依存を排した自立経営を進めるべきです。空き家対策や観光は手段として有用ですが、本丸は日本人の所得上昇と家族形成を支える実体経済であるはずで。財政・行政の見える化を徹底し、住民が「納得」して地域経営に参加できる仕組みを強化してください。	1件 (1人)	案のとおりとします。	本市は製造業の集積を強みとしており、基本目標9では、ものづくりの素地を生かした企業の立地や新技術・先端設備の導入などを支援し、地域経済の活性化を図ることとしています。また、基本目標14では、安定的で健全な財政運営とともに、行政情報を分かりやすく発信し、市民のみなさんが市政に参画しやすい仕組みづくりに取り組んでいきます。
【44】基本計画（基本目標10：経済） ・基本目標10「経済」－働く－について、思いは伝わるが具体的な目標が欲しい。	1件 (1人)	案のとおりとします。	基本目標10では、市民の実感を示す指標として「米原市は、やりたい仕事をみつけやすい」と感じる市民の割合を掲げ、働き場や働き方の充実を目指しています。具体的な取組や目標については、実施計画や関連する分野別計画において具体化し、着実に進めていきます。
【45】基本計画（基本目標10：経済）	1件	案のとおりとします。	県内唯一の新幹線駅などの交通の要衝とし

・米原市に来てもらう人を増やす。	(1人)		ての強みを生かし、市域を越えた広域的な連携のもとで観光誘客を図ります。
【46】基本計画（基本目標11：暮らしの拠点） ・人が集まる場所を増やしてほしい（気軽に集まれる場）	1件 (1人)	案のとおりとします。	誰もが暮らしやすく、次世代が暮らし続けられるまちづくりに向けて、市民・事業者・行政などがそれぞれの強みと限られた資源を活用し、地域の実情に応じた暮らしの拠点をつくります。
【47】基本計画（基本目標12：持続可能な都市基盤） ・交通が不便（特に高齢者）。	1件 (1人)	案のとおりとします。	乗合タクシーまいちゃん号の最適化とサービスの改善を進めるとともに、最新技術を活用した移動手段の利便性の向上を検討します。また、鉄道の利用促進を行うとともに、鉄道と二次交通（路線バスと乗合タクシー）との連携強化を行います。
【48】基本計画（基本目標13：協働） ・人とのつながりを大切にして、参加していくことから、意識を高めていきたい。	1件 (1人)	69ページの「01 つながり」の「幸せが生まれるみんなの取組」について、「米原に関わる人々の知恵や経験、地域の資源が見える化し、市民・事業者の主体的な行動が地域の力として循環するための仕組みを整えます。」を「米原に関わる人々の知恵や経験、地域の資源が見える化し、市民・事業者の主	「つながり」において、米原に関わる人々の知恵や経験、地域の資源が見える化し、市民・事業者の主体的な行動とともに、人とのつながりが地域の力として循環するための仕組みを整えていけるように修正します。

		体的な行動や人とのつながりが地域の力として循環するための仕組みを整えます。」に修正します。	
【49】基本計画（基本目標13：協働） ・落語会・イベントなど、地域コミュニティの活性化に関わって地域こぞって盛り上げるように関わりたい。近隣の皆さんと一緒に笑顔になれる場をもらいたい。	1件 (1人)	案のとおりとします。	地域のみなさんが主体となって楽しみを生み出し、笑顔でつながる取組は、本計画の将来像や理念「つながる」にも通じるものです。一人一人の思いや楽しみから地域のつながりが生まれ、育っていくことを大切にしていきたいと考えています。
【50】基本計画（基本目標13：協働） ・協働の分野があることが良い。	1件 (1人)	案のとおりとします。	市民、地域、事業者、行政が手と手を取り合い、新しいまちづくりを動かしていけるよう、協働の取組を進めていきます。
【51】基本計画（基本目標13：協働） ・市民が地域の課題を解決するための支援を行ってほしい。多様な地域組織との共同を充実してほしい。地域のコミュニティづくりに参加していきたい。	1件 (1人)	案のとおりとします。	地域の課題に主体的に向き合う市民のみなさんの思いは、まちづくりの大きな力です。本計画では、市民や地域の多様な主体が対等な立場でつながり、ともに支え合う関係を大切にしています。みなさんの思いや行動が地域の力として生かされるよう、協働の取組を進めていきます。
【52】基本計画（基本目標13：協働） ・自治会の各種団体を復活させて地域のつながり、絆を強くしていただきたい。	1件 (1人)	案のとおりとします。	地域のつながりや絆は、安心して暮らし続けるための大切な基盤と考えています。暮らしや価値観が多様化するなか、本計画では、これまでの形にとらわれず、住民のみなさんの思いから生まれる新たな支え合いの形も大切にしな

			がら、地域のつながりが育まれるよう取組を進めていきます。
【53】基本計画（基本目標13：協働） ・地域の皆さんと力を合わせて生活していける町づくりに協力していきたい。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	地域のことを自分ごととして支え合う、思いやりのある地域自治が営まれている地域コミュニティを目指します。
【54】基本計画（基本目標14：地域経営） ・税金の無駄遣いを減らす。税収を増やすために頑張っている企業を米原市が応援する。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	限られた資源を未来への投資に生かす、安定的で健全な財政運営を進めていきます。
【55】その他 ・県が南高北低と言われているのと同じように、米原市も南高北低であるので、抱える課題が地域によって真逆といってもいい状態にある。基本計画段階であるが、「地域計画」というような分野があったほうが良い。そうしないと、市全体の本質的課題が見えてこないし解決につながっていかない。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	第3次米原市総合計画では、基本構想で将来像や重点目標などの「ビジョン」、基本計画で重点政策や分野別方向性の「ミッション」を位置づけています。地域が抱える課題やその課題解決の具体的な取組については、実施計画や分野別計画の中で検討していきます。
【56】その他 ・まちの未来の答えは「米原らしさ」が必要だと思う。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	市民の誇りは、伊吹山、琵琶湖、三島池といった「自然環境の豊かさ」にあり、米原ならではの「恵み」を生かしたまちづくりを進めていきます。
【57】その他 ・数値目標を立て実現する。まず、現状把握から始める。	1 件 (1 人)	案のとおりとします。	第3次米原市総合計画においては、基本計画全体の目標として、「幸せの指標『幸福度』7.0」を掲げ、それぞれの基本目標ごとに「2037年に実現する幸福実感指標」の目標数値を掲げています。これらの目標値の実現に向けて、現状をしっかりと把握した上で今後の施策展開を

			進めていきます。
【58】その他 ・項目ごとに目標値を設定されていますが、それぞれの数値に根拠があって、行政や市民が努力すれば37年度までに実現可能となるものでしょうか。	1件 (1人)	案のとおりとします。	各目標値は、市民意識調査などによる現状値や過去の推移を踏まえ、将来像から逆算して必要な水準を設定したもので、市民・事業者・行政が力を合わせることで実現できる値です。進捗は定期的な市民意識調査などで確認し、基本計画の見直しにあわせて検証していきます。
【59】その他 ・総合計画の策定のポイントに「市民、若者、子どもとともに作る」とありますが、計画からは子どもたちの声が十分に反映されていないように感じました。次代を担う子どもたちの声も聴取されたとのことですが、どの様にこの計画に反映されているのでしょうか。具体的な反映内容を教えていただけると嬉しいです。 ・生徒さんへのアンケートでは、中高生の約2割弱しか、「米原に住み続けたい」と回答しておらず、「一度、米原を出て、また帰ってきたい」を含めても5割弱にとどまっています。また、実際に市外へ出た若者が、どの程度米原市へ戻ってきているのかも重要な指標になると思います。子どもたちが将来「帰ってきたい」と思える環境整備は不可欠です。大人の視点だけでなく、子どもたちを権利の主体と位置づけ、子どもたちの声を施策に生かす姿勢をより強めていただければ幸いです。	1件 (1人)	案のとおりとします。	第3次米原市総合計画の策定に当たっては、市内小学生4・5・6年生と中学生、高校生相当世代を対象にアンケート調査を実施しています。「伊吹山などの自然を大切にしてほしい」、「米原駅周辺の活性化」など、米原市の好きなところ、将来のまちの姿などに関する意見は、基本構想の目指す将来像や基本計画に反映しています。 また、取りまとめに当たっては、子ども向けの概要版の作成を予定しており、これによって計画策定後も子どもたちへの情報発信に取り組んでいきます。 今後も引き続き、子どもをまんやかに、多様な主体が子育てを支える地域社会の実現に取り組んでいきます。
【60】その他	1件	案のとおりとします。	基本目標7では、山の豊かさとともに水の清

・米原市のブランドコンセプトは『びわ湖の素米原』で、米原は京阪神の人々の生活を支える「命の水」の供給源だとしています。このため、伊吹山をはじめとした「父なる 山」から、「母なる 琵琶湖」にきれいな水を送り届けるのは市民の義務であり責任だといえると思います。しかし、米原市の最上位計画である第3次米原市総合計画（案）には、14の基本目標の中に水源となる伊吹山の再生は記されていても、河川環境の保全や濁水防止対策などのきれいな水を琵琶湖に届けるための取組がないように思います。市民にとっても安全・快適に暮らす上で河川環境や水質の維持・保全是大切なことだと思いますが、こうしたことへの米原市の取組はないのでしょうか。	（1人）		らかさが守り育てられることを掲げ、伊吹山から琵琶湖へと広がる自然と調和した環境づくりを進めることとし、基本目標12では汚水の適切な処理に取り組むこととしています。さらに具体的な取組は実施計画や分野別計画において推進していきます。
【61】その他 ・第三次総合計画策定過程で実施されたタウンミーティングやワークショップは、有権者が政治・行政に直接参加する機会として高く評価できます。こうした取組を一過性のものにせず、さらに拡充し、有権者が日常的に政治・行政や自治に関与できる仕組みを増やすべきです。有権者が積極的に参加することで、自らの一票に対する責任感を育み、投票行動をより真剣で主体的なものに変えていくことが重要です。既にある「米原市明るい選挙推進サポーター」制度は、その意味でも素晴らしい取組です。	1件 （1人）	案のとおりとします。	本計画では、市民・事業者・行政が日常的に顔を合わせ、対等な立場で対話できる場や機会を継続的に育むこととしています。また、子どもたちについても、米原の自然や歴史を学び、地域の課題解決に向けて主体的に取り組もうとする人づくりを進めることとしており、世代を超えて自治に関わる基盤づくりに取り組んでいきます。

また、学齢期のこどもたちに対しても、年齢に応じた政治参加の機会や教育を計画に明確に位置づけてください。こどもたちが地域の課題を学び、議論に加わる経験を積むことで、将来の有権者として「日本人として誇りを持ち、自立して未来を切り開く」意識を自然に育むことができます。こうした取組を通じて、形式的な市民参加ではなく、真に「納得の政治・行政」を支える基盤を築いていただきたいと思います。			
	計 62 件 (提出者 22 人)		